

令和7年12月12日

登別市教育委員会
教育長 安宅錦也様

のぼりべつの図書館を考える有志の会
合田美津子 及川奈緒
米田登美子 田中博典
澤田一二 澤田郁子

登別市立図書館移転計画に関する公開質問状

登別市立図書館の移転計画に関し、登別市民より数多くの問題指摘や疑念があったにも拘わらず、納得のいかない説明の繰り返しの強い疑念を抱いております。

市民の知るべき権利を確保し、行政への信頼性を高めるため、以下の点について公開質問をいたします。

【質問内容】

1. 事前計画・構想の必要性について

事業を立ち上げる場合、事前に基本計画・基本構想を練るのが原則と考えますが「移転先を決定しない限り、基本計画、基本構想の検討に入れない」との繰り返しでした。仮に移転先を想定するとして対象施設の適否を検討、評価するためには詳細な判断資料や情報が不可欠であると考えます。
移転決定後でなければ、次の段階に移行できない合理的根拠を示してください。

2. 判断資料の必要性について

目標（目的）達成のために、事前計画・構想が必要と考えますが、計画・構想を練るための確定した資料・情報がないまま討議が繰り返されました。そのため不確定要素が残ったままになっています。
想定可能な事実を残したまま次の段階へ移行する理由を問います。

3. 問題点、不安要素の有無について

本来なら移転先決定前に事前調査を行い、指摘がある不安要素や不都合な事実を解消して事を進めるのが得策と考えますが、その点について憂慮すべき項目あるのか、あるいは「ない」とするなら、その根拠を示してください。憂慮する問題指摘を考慮せず事を進める意図と問題が露見した場合の対策を問います。

4. 教育委員会の役割と図書館構想について

教育委員会は学校教育にとどまらず、市民の生涯にわたる教育、学術および文化の振興にも関わる重要な役割を担っているものと理解しております。
登別市立図書館構想においては「子どもファースト」が強調されておりますが、図書館は子どもだけのための施設ではなく、将来を見据え、市民の誰もが利用しやすく、誇りをもって語れるものでなければ、その存在価値を十分に発揮できません。つきましては、子どもに誇れる真の価値ある図書館を創りあげるために、教育委員会としてどのような手段・方策を講じるのが得策とお考えか、ご見解をお伺いいたします。

【回答期限】

登別市民の図書館移転問題に関する提言・要望書に加え参考資料を添えますので、ご参考の上、令和8年10月30日（金）までに書面でのご回答をお願いします。その後は再度面談の予定をお願いいたします。
本質問状のご回答は、市民への情報公開の観点から多角的に公表いたします。ご多忙のところ誠に恐れ入りますが、市民への説明責任を果たすために誠意あるご回答をお願いします。